

個別注記表

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

株式会社 ジェイアール貨物・北陸ロジスティクス

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法

(貸借対照表額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算出)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・法人税法の規定による定率法、ただし建物及び建物付属設備は定額法

取得価格10万円以上20万円未満の資産は、長期前払費用とし3年間で均等償却する方法にしています。

無形固定資産・・・法人税法の規定による定額法

リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法

(3) 引当金の計上方法

・貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率によるほか、債権の内容を検討して計上しています。

・賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく当期末自己都合退職要支給額を新会計基準(簡便法)より計上しています。

・役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上しています。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数(譲渡制限付株式)・・・ 20,000株

3. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額・・・ 1,309円94銭